

平成25年行政事業レビューシート

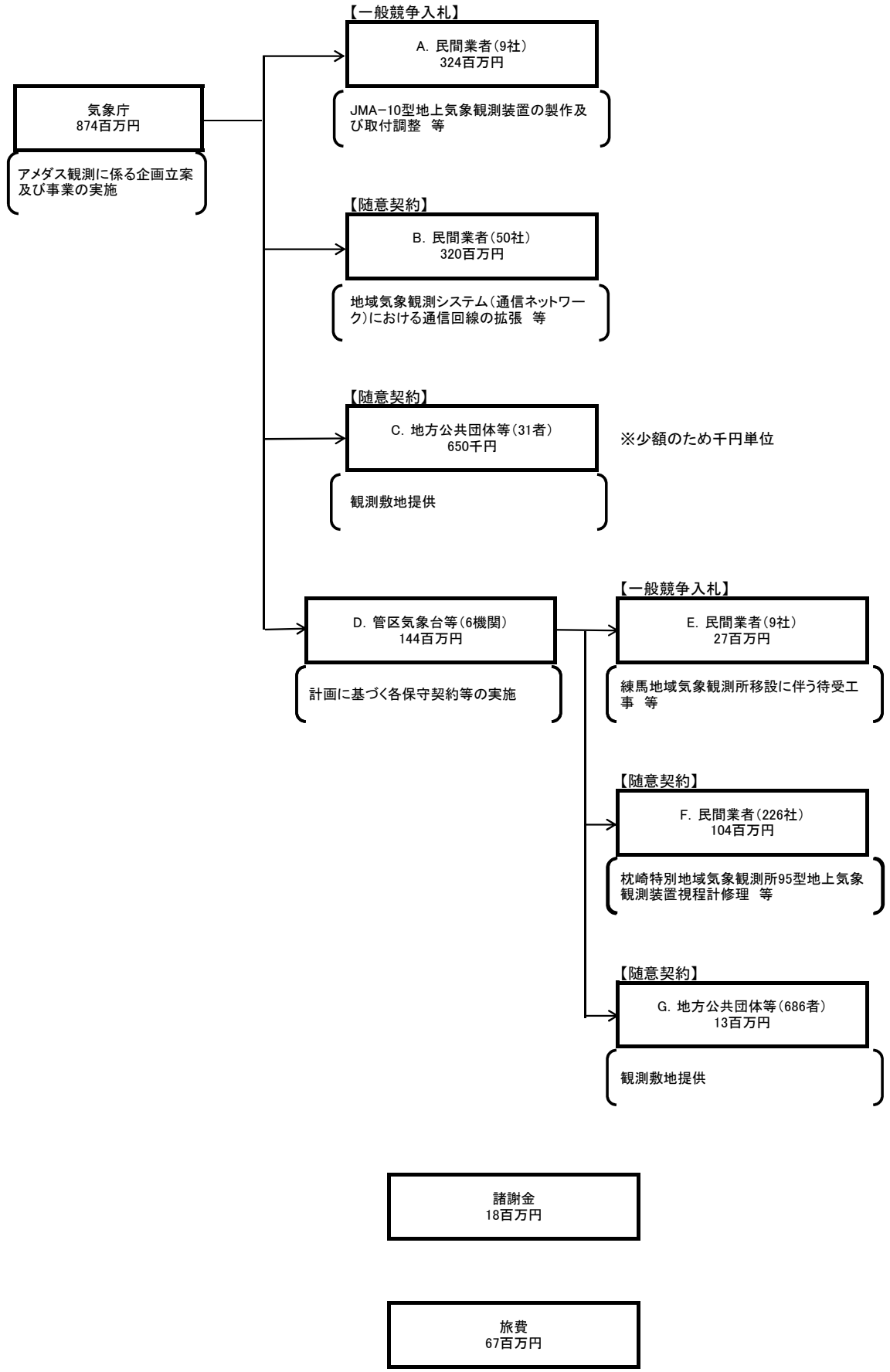
(国土交通省)

事業名	アメダス観測	担当部局庁	気象庁観測部	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	昭和31年度～	担当課室	観測課	課長 大島 広美				
会計区分	一般会計	政策・施策名	4 水害等災害による被害の軽減 10 自然災害等による被害を軽減するため、気象情報等の提供及び観測・通信体制を充実する					
根拠法令(具体的な条項も記載)	気象業務法(第3条、第4条、第11条 他) 災害対策基本法(第3条、第8条)	関係する計画、通知等	防災基本計画(昭和38年策定) 世界気象監視計画(WMO策定、昭和38年開始)					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	集中豪雨等の国民の生命財産に重大な被害をもたらす気象現象を把握するため、地域気象観測システム(アメダス)や部外機関の観測データの収集を推進し、観測結果をリアルタイムに収集して予報担当官署に配信することにより、適時・的確な警報・注意報の発表を行い、気象災害の防止・軽減を図る。また、観測データの統計資料を成果として発表することにより、災害の予防、産業の興隆等に寄与する。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	気象の基本的な要素である、降水量、風向風速、気温、日照等について、全国のアメダス観測所、気象官署において観測装置により自動で常時観測を行うとともに、部外機関の観測した観測データを速やかに収集して品質管理を行う。 観測成果は即時に実況値として全国の予報担当者や防災関係機関に提供する。また、全国から集められた観測資料は速やかに蓄積・統計処理を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算の状況	当初予算	1,473	955	900	972	1,132	
		補正予算	-122	-	-	-	-	
		繰越し等	-14	14	-	-	-	
		計	1,337	969	900	972	1,132	
	執行額	1,323	949	874	-	-		
執行率(%)	99%	98%	97%	-	-			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)	
	72時間先の台風中心位置の予報誤差(過去5年の平均)を平成27年までに260kmとする。		成果実績	km	302	305	314	260(27年度)
			達成度	%	86	85	83	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	降水量観測地点数(臨時観測地点を除く)		活動実績(当初見込み)	カ所	1,196	1,196	1,196	1,196
	風向風速・気温・日照時間観測地点数(臨時観測地点を除く)			カ所	840	840	840	840
	国際通報回数達成率			%	100	100	100	100
	アメダス観測回数			回/日	172,224	172,224	172,224	172,224
単位当たりコスト	0.01 (千円/回)	算出根拠	24年度執行額/24年度アメダス観測回数					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	21	21	・アメダスデータ等統合処理システムの更新に伴う維持費の減▲51				
	職員旅費	69	69	・通信専用料の見直し減▲6				
	観測予報庁費	655	816	・アメダスデータ等統合処理システムの更新326				
	通信専用料	213	212	・地上気象観測装置の更新227				
	土地建物借料	14	14	・自然減▲1 ・前年度限りの経費▲334				
	計	972	1132	要求額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」553				

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	・アメダス観測は、警報・注意報をはじめ防災気象情報の作成に利用され、自治体や防災関係機関が防災対策を講じるために必要不可欠であるとともに、産官学を問わず公共インフラとして観測データが活用されており、広く国民のニーズがあり、政策の優先度の高い事業である。 ・気象業務法に基づき、気象等の観測網整備や情報発表は気象庁が実施することになっており、国が実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	・観測装置(地上気象観測装置)・アメダスデータ等統合処理システムの更新において国庫債務負担行為を活用した複数年度契約・一括調達を行うなど、コスト削減や調達における競争性の確保に努めている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	・アメダス観測網から得られた観測データは、防災機関を始め、産官学を問わず公共インフラとして広く活用されている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>アメダス観測は、気象災害の防止・軽減を図るため発表される警報・注意報をはじめ防災気象情報の作成に不可欠なものであり、蓄積され統計処理された観測データは、過去の災害事例との関連から、地域の防災計画をはじめ各種の災害対応マニュアルの作成にも活用されている。また、我が国の気象・気候の変化を監視・予測するための基盤となる観測網であり、自治体や防災関係機関が防災対策を講じるために不可欠であるとともに、観測成果は産官学を問わず公共インフラとして活用されている。このため、本事業を継続する必要がある。</p> <p>また、事業の実施に当たっては、観測装置(地上気象観測装置)・アメダスデータ等統合処理システムの更新において国庫債務負担行為を活用した複数年度契約・一括調達を行うなど、効率的、効果的な予算の執行に努めている。</p>					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	引き続き、調達の競争性を確保しつつ、複数年度契約の実施等による調達方法の改善を図り、コストの縮減に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	<p>アメダスデータ等総合処理装置の更新に伴い維持費の縮減を図った。 通信回線の契約にあたり調達方法の改善を図り、コストの縮減を図った。 チームの所見を踏まえ、引き続き、調達の競争性を確保しつつ、複数年度契約の実施等による調達方法の改善を図り、コストの縮減に努める。</p>					
備考						
<p>・総務省の行政評価・監視(平成22年度)において、以下の勧告を受けている。 「1 防災気象情報の適時かつ的確な発表等 (1)大雨警報等の適時かつ的確な発表等 ③アメダス観測所等における観測環境の改善及び障害発生時の復旧に係る対応基準等を明確化し、官署に徹底すること。」</p>						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	463	平成23年	495	平成24年	495

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補
足する)
(単位:百万円)



費目・用途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と用途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.横河電子機器(株)			E.橋本建設(株)		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
物品購入	JMA-10型地上気象観測装置の製作及び取付調整他	189	工事費	練馬地域気象観測所移設に伴う待受工事	4
雑役務費	JMA-10型地上気象観測装置の製作及び取付調整他 等	30			
計		219	計		4
B.KDDI(株)			F.明星電気(株)		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
通信運搬費	衛星データ通信料 等	2	物品購入	視程計用感雨器の購入 等	0.46
借料及び損料	地域気象観測システム(通信ネットワーク)における通信回線の提供	5	雑役務費	枕崎特別地域気象観測所95型地上気象観測装置視程計修理 等	7
雑役務費	地域気象観測システム(通信ネットワーク)における通信回線の拡張 等	188			
計		195	計		7
C.神戸市みなと総局			G.東京都東部公園緑地事務所		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
借料及び損料	風・日照観測装置敷地借料	0.254	借料及び損料	東京管区気象台江戸川臨海地域気象観測所敷地借料	0.906
計		0.254	計		0.906
D.東京管区気象台			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
物品購入	湿度計フィルタの購入 等	4			
工事費	練馬地域気象観測所移設に伴う待受工事 等	22			
通信運搬費	通信回線利用料 等	0.386			
雑役務費	魚津地域気象観測所気温データ異常変動に係る調査及び復旧作業 等	14			
借料及び損料	東京管区気象台江戸川臨海地域気象観測所敷地借料 等	6			
計		46.386	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	横河電子機器(株)	JMA-10型地上気象観測装置の製作及び取付調整他※ 等	219	-	-
2	三井住友トラスト・バナソニックファイナンス(株)	地域気象観測システム(通信処理装置)の借用(リース)及び保守※	35	1	96.84
3	東京センチュリーリース(株)	気象資料提供システムの借用(リース)及び保守※ 等	18	-	-
4	(株)小笠原計器製作所	転倒ます型雨量計のオーバーホール 等	15	-	-
5	富士通リース(株)	雨量情報変換装置の借用(リース)及び保守※	15	3	44.84
6	KDDI(株)	地域気象観測システム(通信ネットワーク)の借用(リース)及び保守※	13	3	54.48
7	日立キャピタル(株)	他機関観測データ収集・高度利用装置借用(リース)・保守※	6	3	28.49
8	(株)トーコン・テクノサービス	障害復旧支援端末他の購入	3	12	97.78
9	(株)マルミヤ	電子計算機他の購入	0.226	3	83.79
10	-	-	-	-	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	KDDI(株)	地域気象観測システム(通信ネットワーク)における通信回線の拡張 等	195	随意契約	-
2	富士通(株)	地域気象観測システム(センターシステム)の業務ソフトウェア等の保守 等	26	随意契約	-
3	日本電子計算機(株)	地域気象観測システム(センターシステム)のハードウェア等の借用及び保守	25	随意契約	-
4	三井住友トラスト・バナソニックファイナンス(株)	地域気象観測システム(通信処理装置)の借用(リース)及び保守	25	随意契約	-
5	日立キャピタル(株)	JMA-04型有線ロボット気象計用電源装置借用(リース)※	14	随意契約	-
6	シャープファイナンス(株)	JMA-95型地上気象観測装置ほかの借用 等	11	随意契約	-
7	(有)電友社	風向風速計ケーブル張替等工事(西脇地域気象観測所) 等	3	随意契約	-
8	(株)大滝工務店	JMA-10型地上気象観測装置待受工事 等	3	随意契約	-
9	サンデンコー(株)	JMA-10型地上気象観測装置待受工事 等	3	随意契約	-
10	光進電気工業(株)	転倒ます型雨量計のオーバーホール 等	3	随意契約	-

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	神戸市みなと総局	風・日照観測装置敷地借料	0.254	随意契約	-
2	朝来市	生野地域気象観測所2敷地借料 等	0.06	随意契約	-
3	新函館農業協同組合	新八雲地域気象観測所敷地借料	0.055	随意契約	-
4	南島原市	口之津地域気象観測所2敷地借料	0.035	随意契約	-
5	香美町	新香住地域気象観測所敷地借料 等	0.032	随意契約	-
6	西海市	大瀬戸地域気象観測所敷地借料	0.032	随意契約	-
7	長崎県	新島原地域気象観測所敷地借料 等	0.03	随意契約	-
8	南あわじ市	南淡路地域気象観測所2敷地借料	0.019	随意契約	-
9	松前町	松前地域気象観測所敷地借料	0.018	随意契約	-
10	八雲町	熊石地域気象観測所2敷地借料	0.011	随意契約	-

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京管区气象台	練馬地域気象観測所移設に伴う待受工事 等	46	-	-
2	大阪管区气象台	松江地方气象台JMA-10型地上気象観測装置待受工事 等	35	-	-
3	福岡管区气象台	佐賀地方气象台JMA-10型地上気象観測装置待受工事 等	25	-	-
4	仙台管区气象台	久慈地域気象観測所移設工事 等	17	-	-
5	札幌管区气象台	更別地域気象観測所所有線ロボット気象計移設工事 等	17	-	-
6	沖縄气象台	大原地域気象観測所JMA-04B型有線ロボット気象計信号変換装置修理 等	4	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	橋本建設(株)	練馬地域気象観測所移設に伴う待受工事	4	1	94.9
2	保下電気商会	金沢地方気象台栢野地域気象観測所移設待受及び撤去工事	4	3	99.6
3	(株)石上建設	久慈地域気象観測所移設工事	4	1	99.7
4	(株)住建トレーディング	遠野地域気象観測所移設工事	3	2	96.7
5	(株)福島工務所	徳島地方気象台JMA-10型地上気象観測装置待受工事	3	3	98
6	高野工業(株)	更別地域気象観測所有線ロボット気象計移設工事	3	6	73.29
7	(株)九州山光社	佐賀地方気象台JMA-10型地上気象観測装置待受工事	2	5	92.6
8	脇田電設(株)	鹿児島地方気象台JMA-10型地上気象観測装置待受工事	2	5	71.6
9	(株)つうけんテクノネット	小樽特別地域気象観測所JMA-10型地上気象観測装置待受工事	2	7	70.57
10	-	-	-	-	-

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	明星電気(株)	枕崎特別地域気象観測所95型地上気象観測装置視程計修理等	7	随意契約	-
2	(株)九州山光社	名瀬測候所JMA-10型地上気象観測装置待受工事等	6	随意契約	-
3	(有)有生	高知地方気象台JMA-10型地上気象観測装置待受工事等	4	随意契約	-
4	(株)中央電設	高松地方気象台空調設備移設工事等	3	随意契約	-
5	菅谷電気工事(株)	前橋地方気象台藤岡地域雨量観測所移設工事等	3	随意契約	-
6	電通システム(株)	長野地方気象台諏訪特別地域気象観測所フェンス更新工事等	3	随意契約	-
7	和幸電通(株)	松江地方気象台JMA-10型地上気象観測装置待受工事等	3	随意契約	-
8	四国通建(株)	今治地域気象観測所移設工事等	3	随意契約	-
9	鈴中工業(株)	名古屋地方気象台東海地域気象観測所移設待受工事等	3	随意契約	-
10	三矢推進工業(株)	和歌山地方気象台JMA-10型地上気象観測装置待受工事等	3	随意契約	-

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京都東部公園緑地事務所	東京管区気象台江戸川臨海地域気象観測所敷地借料	0.906	随意契約	-
2	松山東高等学校	松山地方気象台台風・日射日照観測施設敷地借料	0.478	随意契約	-
3	御殿場市	静岡地方気象台御殿場地域気象観測所敷地借料	0.307	随意契約	-
4	枝幸町	北見枝幸特別地域気象観測所敷地借料	0.286	随意契約	-
5	農工大	東京管区気象台府中地域気象観測所敷地借料	0.237	随意契約	-
6	日本科学技術振興財団	東京管区気象台風向風速計等敷地借料	0.172	随意契約	-
7	北秋田市	鷹巣・阿仁合地域気象観測所敷地借料	0.166	随意契約	-
8	三沢市	三沢地域気象観測所敷地借料	0.156	随意契約	-
9	千葉県立薬園台高等学校	銚子地方気象台船橋地域気象観測所敷地借料	0.153	随意契約	-
10	十日町市	新潟地方気象台松代地域雨量観測所敷地及び建物借料	0.141	随意契約	-

※複数年度契約であって、24年度より前に契約を行ったもの